

## 所 沢 市 ( 3 2 校 )

運営委員会名	校区運営委員会		
構成役職 (合計21名)	当該小学校のPTA代表者、当該小学校長、地域の適任者(学校評議員、後援会長等)、スタッフリーダー(コーディネーター)等		
検討内容	運営方法、活動内容の検討、スタッフの確保等		
放課後子供教室 実施教室数	11教室	放課後児童クラブ 箇所数	48箇所
対象学区	11校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 1教室 連携型 3教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	186日
総登録児童数	3488人	総ボランティア数	205人
平均参加児童数	481人	平均スタッフ数	10人/教室
コーディネーター数	11人		

### 教室紹介

教室名	所沢市放課後支援事業 明峰小学校 ほうかごめいほう	活動場所	校庭・体育館・図書室
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 271人 1日平均参加者数 51人
活動内容	一輪車・バスケットボール・サッカー・読書・宿題・折り紙・折り紙・卓球等		
連携団体	明峰小学校児童クラブ		
活動の成果	<p>明峰小学校 ほうかごめいほうは、「みんなで子供たちを幸せにします」をスローガンに、平日放課後の子供たちの安心・安全な居場所づくりと、異学年との交流を通して子供たちの自主性、社会性、協調性の育成を目指し、平成19年に開設された。</p> <p>子供たちの安心・安全な遊び場を目指して、スタッフ連絡会議では、情報交換等を行うことで共通理解を図っている。また、児童クラブと合同による避難訓練や異学年交流として開催するドッジボール大会、卒業生へのメッセージボード作成の企画など、児童の心身の健やかな成長に向けた取組も行っている。</p> <p>ほうかごめいほうは、学校・地域との連携、協力も大切にしている。年に3回、学校主催で催される4施設(学校・児童クラブ・ほうかごめいほう)会議では、放課後の支援に関わる各団体と情報交換を行い、子供たちのより良い支援につなげている。また、保護者や地域の皆様からは、本や折り紙類をはじめ、一輪車、カードゲーム類、各種ボール、子供たちの使う遊び道具等を数多くの寄付をいただいている。今後も健やかな成長の場であり続けられるよう、学校・地域・保護者の皆様と協力しながら、日々取り組んでいきたい。</p>		



【「地震発生！」スタッフの指示で柱のところに集まります】  
上級生が下級生をリードする避難訓練



【白熱のドッジボール大会】  
異年齢で構成したチーム同士の白熱した試合

**飯能市（12校）**

運営委員会名	奥武蔵小学校放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計9名)	小学校長、放課後子ども教室コーディネーター1名・教育活動指導員3名、PTA代表、児童クラブ関係者、社会教育指導員、生涯学習課長		
検討内容	放課後子ども教室の活動内容、学校施設使用について 参加者募集について 参加者の出欠確認等について 次年度の活動予定について		
放課後子供教室 実施教室数	1教室	放課後児童クラブ 箇所数	19箇所
対象学区	1校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 1教室 連携型 0教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	R1. 9から19日
総登録児童数	52人	総ボランティア数	3人
平均参加児童数	47人	平均スタッフ数	3人
コーディネーター数	1人		

**教室紹介**

教室名	おくむさし わくわくルーム	活動場所	飯能市立奥武蔵小学校特別教室、体育館
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 52人 1日平均参加者数 47人
活動内容	英語・算数の学習、ミュージカルレッスン、リース作り、川の生き物観察、タブレットで遊ぶ		
連携団体	名栗げんきプラザ、県立川の博物館、ソニーミュージックエンタテインメント		
活動の成果	今年度から3校の小学校を1校に統合し、同地区内の中学校と隣接型小中一貫校を設置した。この統合に合わせて、更なる魅力向上の取組として飯能市では初となる放課後子ども教室を開始した。統合しても全校児童は75名と小規模であるが、保護者からも求められていた、統合前ではできなかったグループによる活動などができるようになった。スタッフは、教員経験者が多く、きめ細かい対応を行った。		



【ミュージカルレッスン】  
講師：ソニーミュージックエンタテインメント



【みんなでチャレンジ！アドベンチャーツアー】  
講師：名栗げんきプラザ

## 東松山市(11校)

運営委員会名	東松山市放課後子ども教室連絡会議		
構成役職 (合計35名)	放課後子ども教室コーディネーター10名、小学校長10名、PTA会長10名、放課後児童クラブ事務局長、教育総務課長、学校教育課長、保育課長、子育て支援課長		
検討内容	放課後子ども教室の検証について 放課後子ども教室の活動内容について 次年度の実施内容について		
放課後子供教室 実施教室数	10教室	放課後児童クラブ 箇所数	17箇所
対象学区	10校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 2教室 連携型 0教室
主な対象学年	1～3年	平均開催日数	55日
総登録児童数	253人	総ボランティア数	73人
平均参加児童数	253人	平均スタッフ数	6人/教室
コーディネーター数	10人		

### 教室紹介

教室名	さくら・チェリー	活動場所	余裕教室、図書室、体育館、校庭
参加対象	1～3年生	参加者数	登録児童 28人 1日平均参加者数 28人
活動内容	宿題、工作、室内・体育館でゲーム・運動、外部講師によるお茶や歌、音楽演奏等		
連携団体	外部講師(市に登録された方・グループ)		
活動の成果	<p>「多様なヒト・モノ・コト」に出会い、子供たちの放課後がより豊かで楽しい時間となるように、身体、手先、頭、心を使う活動を計画し実践している。</p> <p>今年度実施した「さくら・チェリーオリンピック」ではハードル、綱、マット、フラフープ、跳び箱等を一周するように体育館にセットし、種目毎に事前に練習した。大会では走る順番も子供たちで決め、グループ毎に応援やアドバイスも入り、盛り上がった。「木の実を使って」では木の台にまつぼっくりやドングリ、赤い実や小枝をボンドでつけて、ポスカで色を塗った。そうすると木の実が狸やカブトムシ、ウサギ等に変身し、その子らしいすてきな飾り物ができた。自分の子供が作った作品に保護者も感動していた。また、今年度は放課後児童クラブと合同で「人形劇」を開催した。子供たちも一緒につくりあげる喜びを味わうことができた。</p> <p>保護者から「優しく教えてもらう立場から教えてあげる立場になり、子ども教室がいろいろな意味で学びとふれ合いの場になり、すてきな経験をさせてもらっている」との声もあった。</p>		



【人形劇】

子ども教室と児童クラブとの合同イベント



【お茶】

地域の方との連携

## 狭山市（15校）

運営委員会名	狭山市地域子ども教室連絡会 T i e に委託		
構成役職 (合計12名)	代表理事1名、副代表理事2名、他が運営委員会を組織 (各教室の代表者が理事となり、理事会を組織)		
検討内容	狭山市地域子ども教室の運営について		
放課後子供教室 実施教室数	12教室 (体験教室3、放課後9)	放課後児童クラブ 箇所数	15箇所
対象学区	14校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 8教室 連携型 0教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	130日
総登録児童数	1310人	総ボランティア数	148人
平均参加児童数	960人	平均スタッフ数	14人/教室
コーディネーター数	2人		

### 教室紹介

教室名	いるまのっこ放課後教室	活動場所	体育館、校庭
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 175人 1日平均参加者数 108人
活動内容	放課後外遊び、室内遊び、スポーツ、宿題		
連携団体	学校、地域		
活動の成果	<p>今年で7年目を迎える教室である。参加登録者数の割合が、他の学校よりも多い。放課後子ども教室の開始前は、学校の先生が放課後教室まで、児童を送ってきて集合がかかる前の少しの時間に子供たちと遊んでくれている。</p> <p>放課後子ども教室終了後は、スタッフとして参加していた地域の方が子供たちと一緒に集団下校している。</p> <p>学童保育室に入室している児童は、教室に参加した後、地域の児童と同じように地域の方と学童保育室へ下校する。</p> <p>学校・学童保育室・放課後子ども教室の三者の連携がとれている。</p>		



#### 【自由遊び】

地域の方がスタッフとなり卓球を教えてくれる



#### 【先生と遊ぶ貴重な時間】

教室が始まるまでの少しの時間を児童を送ってきた先生と遊ぶ。この日は鬼ごっこ

## 入間市（16校）

運営委員会名	入間市放課後子ども教室事業運営協議会		
構成役職 (合計14名)	入間市立小学校の児童の保護者の代表者1名、地域住民により組織する団体の代表者3名、学校教育及び社会教育の関係者4名、市内に在住する者のうちから公募するもの3名、知識経験者3名、事務局：青少年課		
検討内容	事業計画の策定に関すること。安全管理方策に関すること。広報活動方策に関すること。地域協力者の人材確保方策に関すること。実施プログラムの企画に関すること。事業実施後の検証及び評価に関すること。		
放課後子供教室 実施教室数	32教室	放課後児童クラブ 箇所数	21箇所
対象学区	16校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 29教室 連携型 3教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	30日
総登録児童数	824人	総ボランティア数	69人
平均参加児童数	544人	平均スタッフ数	3人/教室
コーディネーター数	8人		

### 教室紹介

教室名	わく☆ドキッ！ふじさわみなみ	活動場所	藤沢南小学校たんぽぽの部屋
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 37人 1日平均参加者数 20人
活動内容	昔遊び、生け花、工作、木工、お茶のいれ方、かるた遊び等		
連携団体	NPO法人あそびあーと こども劇場入間、入間市華道連盟、茶人 他		
活動の成果	<p>年間を通して、多岐にわたる体験活動を実施できた。参加者の保護者からは、「普段家庭には体験できないことにチャレンジできる」「同学年ではない子たちとも一緒に体験でき、遊びの幅が広がった」などの声があった。</p> <p>今年度、放課後子ども教室が市内全16校に広がったことから、同地区内での教育活動推進員発掘に加え、コーディネーター同士の情報交換により他地区の教育活動推進員からも協力を得ることができ、教室で実施できる体験活動の幅が広がった。</p>		



【体を動かしてあそぼう】  
グループで協力した遊び



【牛乳パックでつくろう へんし〜ん】  
変わり絵の作成

## 富士見市(11校)

運営委員会名	富士見市地域子ども教室連絡協議会		
構成役職 (合計38名)	各教室運営委員27名、生涯学習課職員2名、公民館職員4名、交流センター職員1名、児童館職員3名、放課後児童クラブ職員1名、校長会2名、他		
検討内容	各教室間の情報共有 共通課題とその解決策について 他		
放課後子供教室 実施教室数	11教室	放課後児童クラブ 箇所数	23箇所
対象学区	11校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 11教室 連携型 0教室
主な対象学年	全学年、低学年	平均開催日数	18日
総登録児童数	【登録制】1089人 【全校登録】2742人 【低学年全登録】363人	総ボランティア数	321人
平均参加児童数	1177人	平均スタッフ数	4人/教室
コーディネーター数	14人		

### 教室紹介

教室名	南畑あそび隊	活動場所	南畑小学校 校庭・体育館・工作室
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 260人 1日平均参加者数 156人
活動内容	自由あそび(トランポリン、ボールあそび、一輪車、積み木、編み物、折紙等)		
連携団体	南畑公民館、放課後児童クラブ、町会等		
活動の成果	<p>地域の子供たちを地域の力で守り育てようと、平成18年に発足した。 子供たちは、毎週月曜日の「あそび隊」を生活の一部のように楽しみにしてくれている。放課後児童クラブの子供たちも指導員の人も、この時間は一緒になって遊んでいる。</p> <p>夏休み中の平日には、サポーターとして参加できない大人をまきこみ「あそび隊夏まつり」を企画。そのことで関わる大人の輪が広がった。</p> <p>学校行事の「感謝のつどい」に招かれ、手渡された子供たちからの手紙はサポーターにとって宝物になっている。</p> <p>地域の人の子供たちを思う気持ちと、それにこたえる子供たちの笑顔の関係を活動を通して育んでいる。</p>		



【自由あそび】  
積み木で自由に遊ぶ子どもたち



【自由あそび】  
しゃぼん玉で遊ぶ子どもたち

## ふじみ野市（13校）

運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計11名)	小学校校長会代表、PTA連合会代表、放課後児童クラブ関係者2名、自治組織連合会代表2名、民生委員・児童委員協議会代表、放課後子ども教室指導員代表、文京学院大学教職課程センター特任准教授、子育て支援課長、学校教育課長		
検討内容	放課後子ども教室の現状と課題 新・放課後子ども総合プランについて 配慮を要する児童の今後の対応について等		
放課後子供教室 実施教室数	13教室	放課後児童クラブ 箇所数	21箇所
対象学区	13校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 13教室 連携型 0教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	31日
総登録児童数	528人	総ボランティア数	74人
平均参加児童数	468人	平均スタッフ数	6人/教室
コーディネーター数	13人		

### 教室紹介

教室名	上野台放課後子ども教室	活動場所	活動教室、校庭、体育館
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 80人 1日平均参加者数 65人
活動内容	宿題、工作、スポーツ、季節のイベント工作、サイエンスショー等		
連携団体	くまさん文庫、ふじみ野スポーツ鬼ごっこ愛好会、子育て支援サークルきらきら星		
活動の成果	<p>ふじみ野市における子供たちの安全で安心な居場所を提供し、さまざまな体験や地域住民や異学年交流、学習等の活動の機会を提供することを目的として実施している。</p> <p>活動の成果としては、児童クラブとの共通プログラムを実施し、また学校と児童クラブ、放課後子ども教室の3者にて小学校放課後事業推進検討会議（通称：3者の会）を開催して情報共有をはかり、新・放課後子ども総合プランに基づく充実した運営に努めた。</p> <p>また、今年度においては、参加児童の保護者対象アンケートを実施し、参加児童や保護者が放課後子ども教室に何を求めているか要望を汲み取り、より良い教室の運営を目指していきたいと考えている。</p>		



【クリスマス工作】  
紙粘土でクリスマスツリー工作



【ジャズダンス】リズムに合わせて  
ジャズダンス！はい、ポーズ！！

## 坂戸市（12校）

運営委員会名	坂戸市放課後子どもげんき教室運営委員会		
構成役職 (合計9名)	小学校校長1名、社会教育委員委員長、コーディネーター4名、PTA代表1名、児童クラブ代表1名、社会教育課長		
検討内容	実施地区間の情報交換 放課後子どもげんき教室及び放課後児童クラブの一体的な運営方策 教育委員会と福祉部局の具体的な連携方策 小学校の余裕教室等の活用方策 活動プログラムの企画・充実及び開催時における安全管理の方策 事業実施後の検証・評価等の実施 地域協力者の人材確保、広報活動の方策		
放課後子供教室 実施教室数	4教室	放課後児童クラブ 箇所数	14箇所
対象学区	4校区	一体型・連携型実施 教室数	一体型 3教室 連携型 1教室
主な対象学年	全学年	平均開催日数	23日
総登録児童数	248人	総ボランティア数	67人
平均参加児童数	197人	平均スタッフ数	13人/教室
コーディネーター数	4人		

### 教室紹介

教室名	大家げんき教室	活動場所	余裕教室、体育館、校庭
参加対象	全学年	参加者数	登録児童数 30人 1日平均参加者数 28人
活動内容	サッカー・鬼ごっこ・鉄棒・なわとび・ドッジボール・大なわとび・バドミントン・ボール遊び・宿題・将棋・オセロ・トランプ・かるた・けん玉・こま回し・お手玉・おはじき・ぬり絵・読み聞かせ・折り紙・お絵かきなど		
連携団体	特になし		
活動の成果	平成30年10月に開設された当教室は、今年度も定員である30名の希望者を得て実施している。 こまやお手玉など、昔の遊びが体験できることについて参加児童のみならず、保護者からも大いに好評をいただいている。なお、当教室は児童クラブが学校敷地内にある一体型として実施している。		



【宿題をする児童】

まずは、集中して宿題に取り組みます。



【体育館で遊ぶ児童】

地域の方の見守りで、安心して遊べます。